

第3回審議会の意見と対応

資料	意見の要旨	今後の対応(委員会での回答)
資料3：事業完了・廃止等の施策の今後の方向性	各施策について、今後の方向性を出す前段に、成果のまとめを入れるべきではないか。	資料を整理し、作成した。 添付資料参照。
資料5：市民アンケート調査・分析	16Pアンケートについて、回答している全数の中で不満や困っている人の割合を出し、その数値の地域ごとの比較を行う。	修正した。 添付資料参照。
	Uターン・Iターンについては、配偶者はこれらには該当しないのではないか。	男性分のみを抽出し集計した。 添付資料参照。
	アンケートについては、施策を決定する際にアンケート結果の実態を反映しているかどうかを確認する。	アンケート結果について、添付資料参照。
資料6：基本理念・基本方針等について	居住問題と交通問題は密接なつながりがある。どこに位置付けるか検討してほしい。	基本目標1の施策の方針1-1に、取り組む施策・事業に「公共交通を活かした快適な住環境の形成」を挙げることとしている。
	基本方針2に「定住」という言葉があるが、整理課題には出てきていない。例えば民間賃貸住宅の住み替えモデルが提示できなか。	既存住宅の流通の問題が重要となるが、検討していきたい。 別途、資料を参照。
	中山間地は人が流動している。流動する人を対象とした住宅政策ができればいいのではないか。	別途、資料を参照。
	基本理念の「～暮らす・集まる・つながるの～」の「の」は必要ない。	修正した。
その他	地元産材の活用を図るため、公営住宅での利用も含め、検討してもらいたい。	施策・事業として、地域の木材を活用した「地産地消の家づくりの推進」などは引き続き取り組む。公共施設についても、市の別の計画に基づき、市産材の活用推進を検討している。